

夢に向かってかがやく子（連携型小中一貫校の取組の推進）

藤岡市立小野中学校学校通信 NO. 15（平成26年6月30日）毎週月曜日発行

談 夢

〒375-0002 群馬県藤岡市立石 407
TEL:0274-24-0104 FAX:0274-24-0149
電子メール:onochu2@school.gsn.ed.jp



文責 校長 関根真理

会礼 締めくくりの7月に向けて 期末テストが終わった今だから…

期末テストが終わった今だから、伝えたいことがある。
それは「7月が1学期の締めくくりに向けた月」だということ。
それがわかっていると、終業式までの時間を大切に考えることができる。

学習面なら「最後の提出物までしっかり出す」や「夏休みの学習計画を練る」など…、部活面なら「3年生が悔いのない夏大会になるよう頑張り切るためにできることをする」…

はっきりしているのは、「期末テストが終わったから羽を伸ばそう」と目標のない生活を送ると、一気に人間力が落ちていくということ！

1年生の7月、2年生の7月、3年生の7月、それは、人生の中で一度しかめぐってこない大事な大事な時間なのだから。



〈3年生のみんなへ〉

この梅雨があけると、人生の中で忘れられない中3の夏がやってくる。

みんなは、1年生からの800日以上を、頑張り通してきたのだから、もう後ろ向きになる必要はない。これまでの苦しかった部活動での練習は、この夏のためにこそあったのだから。向き合うのは常に「今、ここにいる自分」。

チーム小野中として全校生徒が一丸となって3年生を応援している。

自分らしく自分達らしく、この夏の試合がかけがえのない思い出の試合になることを祈っている！

〈2年生のみんなへ〉

3年生の最後の試合に向けて、しっかりと考えられる2年生だと思う。

それは、きずなタイムでも、さりげなく3年生をフォローする様子が随所に見られる2年生だから。

この7月は、あっという間に過ぎていく。

そして、2年生のみんなが部活を背負って立つその日が来る。今から意識を高く持ち、3年生と過ごす日々を大切にしてほしい。その延長線上に、後輩に胸を張れる自分がいることを忘れないで！

〈1年生のみんなへ〉

中学生生活は忙しい。だからこそ、時間の使い方を考えなくてはならない。期末テストが終わった7月は、もう一度、自分を振り返るチャンス。学習そして部活動という日々の繰り返しの中で、自立への一步を踏み出すことで君は成長する。

中学生の王道は、自分から進んで行動することから始まる。人に言われて行動するようではまだまだということだ。でも、君たちなら、必ずできる！

1学期 人権集中学習振り返り

先輩、後輩の仲がいい小野中ってステキじゃない？

お互いに高め合える言葉かけをしよう！

2週間の人権集中学習を通して、正しい知識の大切さや意識、そして行動という具体的な目標を掲げて取り組んできた生徒達です。廊下に掲示された一人一人の感想には、互いがよりよいつながり方をした時の“うれしさ”や“笑顔”についてのコメントがたくさんありました。その中から、3年生三名の感想を紹介します。

○私は「後輩との交流を深めるためにあいさつをしっかりしたい」と、思いました。

部活でも「人権集中学習が生かせるように優しくしよう」とか「人権集中学習だから意識してあいさつしよう」という話ができました。私も周りの雰囲気から「頑張らなきゃ」と思って取り組みました。自分から、地域の人や後輩にあいさつができて、交流が深まり、とても良かったし、笑顔の輪が広がるというのはこういうことなんだなと実感しました。(塚本さん)

○私は「中学生らしいことをしっかりやりたい」と、思いました。

今回は、できるだけ友人のために、クラスのために、学校のためとなるような行動や言葉かけをたくさんしました。自分が誰かのためにしたことによって、相手の行動や言動が温かいものになった時があり、その時は嬉しかったです。これからは、人の良いところを見つけて、見習うところは自分も真似をしていきたいと思いました。(堀越さん)

○私は「それぞれの個性を大切にしたい」と、思いました。

いつもなら気付かなかった人にやってもらったことに気付けた気がします。そして、普段から周りの助けに気付けるようになりたいと思いました。また、自分自身も積極的に行動することができました。みんなの意識も高まっていき、「ありがとう」と言ってもらえることが多くなりました。人の助けになることは、相手の自分も嬉しいことなんだと実感しました。(小野澤さん)

生徒達の振り返りを読んで、嬉しくなりました。「ありがとう」は、人をやる気にさせる魔法の言葉と言われています。そして、口に出して言うことで、周囲にも温かなやる気を育むことができます。ご家庭でも、笑顔の「ありがとう」を、よろしく願いいたします。

小野中学校の生徒の皆さんへ

櫻井陽子先生から

1ヶ月でしたが、ピュアで前向きな小野中の皆さんと一緒に過ごせて、とても幸せでした。また、細やかで温かく皆さんの指導をしている先生方も一緒に仕事ができ、嬉しい気持ちでいっぱいでした。

人権の発表の時は、皆さんの日頃の姿が最大限に発揮されていて、とても感動しました。

皆さんには、小野中のピアサポートマインドを学校生活だけでなく、外に向けて広げてほしいと思います。1年生は妙高自然教室で、2年生はチャレンジウィークで、3年生は修学旅行で、他の場所へと広げてほしいと思います。最後に、皆さんにエールを送ります。

“ 右から言っても、ONO (オー エヌ オー) 左から言っても、ONO (オー エヌ オー) どのまで行ってもかわらない 小野中スピリット (イエイ!) ” ありがとうございます！

木場麻貴実習生から

約4週間、ありがとうございました。実習初日から、挨拶をしてくれる生徒が多く、嬉しかったです。また、緊張と不安も軽減しました。挨拶は人とのコミュニケーションにおいて、とても重要なものだと思います。今後も自分から挨拶をすることができるように努めてほしいです。

そして、私自身の中学時代は勉強と部活の両立に悩んだ時もありました。そのようなときに、さまざまな方に相談をしながら乗り越え、今に至ります。悩みや不安があったら、誰かに相談することも、とても大切だと思うので、一人で抱え込まないでくださいね。

中学校時代に学んだことは、将来にも大きく関わるものであると思います。私は、「中学時代に学んでよかった」と感じる事が多くあります。学習面や部活動など、学校生活での体験において様々なことに励み、自分自身を高めていってください。小野中学校で、とても充実した実習をさせて頂くことができました。本当にありがとうございました。

